

「知っていると役に立つ PC スキル」

ショートカットキーのすすめ(1)

03

よほどの初心者でない限り、PC を操作する際に何らかのショートカットキーを使っていると思います。特に、コピー&ペースト (Ctrl+C→Ctrl+V) は普通に使われていると思います。例えば、他人が操作する画面を見ていて、マウスでプルダウンメニューから項目を選択しているような操作であれば目で追って行けるので、何をやろうとしているのか理解出来ますが、ショートカットキーを頻繁に使う人の場合は、今、何の操作をしたの? という感じで、ついて行けなくなりますよね。言い換えると、PCの扱いに手慣れた人に見えるわけです。勿論、見えるだけでなく効率も飛躍的にアップします。そこで、今回は、ショートカットキーを見直すきっかけにいただければと思います、Windows で使えるものをほんの一部抜粋しました (表1)。

また、ソフト毎にも特殊なショートカットキーが用意されています。例えば、Excel の場合、計算結果と計算式の表示を切り替えるのに、「Ctrl+Shift+@」を使います。単純な表であれば使うことも無いですが、複雑な計算式が正しくセルに入力されているかを即座にチェックする際に、このショートカットキーによる表示切替は便利です (表2)。

さらに、Excel2007以降、アクセスキーというのが使えるようになりました。ご存知でなかった方は、Excelを開いて、「Alt キー」を押してみてください。図1のように、リボン (上部のメニュー) にアルファベットや数字が表示されます。これを順に押して行くことで、マウスで操作しなくても殆どの操作がキーだけで達成出来ます。通常のショートカットキー (Ctrl+C) のように、同時押しではありません。試しに、新規ファイルを開いて、「Ctrl+A」で全てを選択し、次に「Alt→H→O→W」で表示されるボックスに、数字の「2.5」を入れて「OK」してみてください。一瞬で方眼用紙が出来たと思います。次回以降、もう少し具体的にご紹介致します。

※このようなショートカットキーの操作は、頻繁に使用して慣れて来ないと、マウスで操作の方が早い場合もあるので熟練が必要なのは言うまでもありません。

《表1》

操作内容	ショートカットキー
	Windows
マイコンピュータを開く(エクスプローラを開く)	Windowsキー+E
ログオフする(一時的に離席する際に便利)	Windowsキー+L
デスクトップ表示(沢山ファイルを開いている時にデスクトップを表示させたい時)	Windowsキー+D
ファイル名を指定して実行させるウィンドウを開く	Windowsキー+R
Windowを最大化/最小化する	Alt+スペースキー→XまたはN
アドレスバーを選択する(ブラウザやエクスプローラの入力操作をする際)	Alt+D
アプリケーションを切り替える	Alt+Tab
ファイルやフォルダのプロパティを開く	Alt+Enter
ファイル内の文字検索ウィンドウを開く	Ctrl+F
ゴミ箱に入れずに完全削除する	Shift+Delete
選択したアイコンの名前を変更する	F2 (ファンクションキー2)
再読み込み、ウィンドウ等の表示の更新	F5 (ファンクションキー5)

※Windows キー：Windows のロゴマークが描かれたキー

《表2》

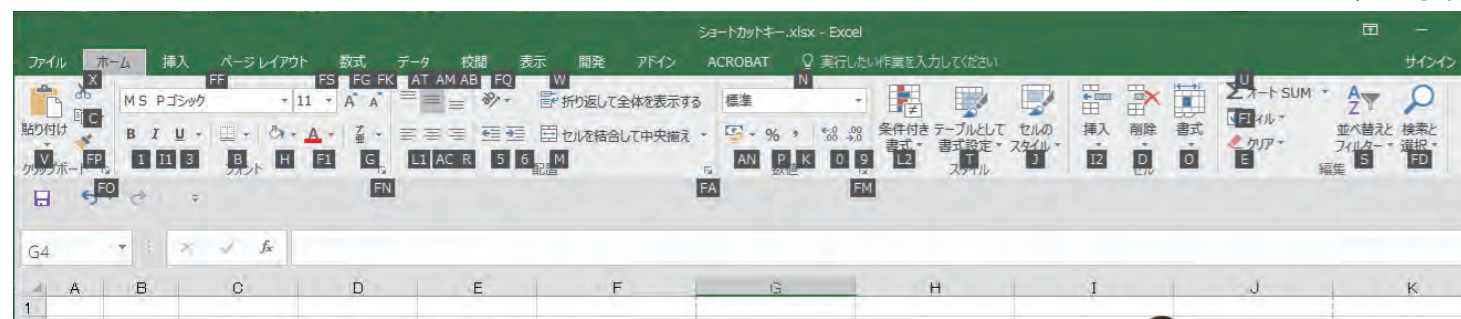
	売上高	原価	粗利
A事業	35,000	23,000	12,000
B事業	56,000	32,000	24,000
C事業	102,500	56,000	46,500
合計	193,500	111,000	82,500

Ctrl+Shift+@

	売上高	原価	粗利
A事業	35000	23000	=C10-D10
B事業	56000	32000	=C11-D11
C事業	102500	56000	=C12-D12
合計	=SUM(C10:C12)	=SUM(D10:D12)	=SUM(E10:E12)

↑このように計算式が表示される。

《図1》



←Alt キーを押した時に表示される黒い四角文字がアクセスキー。表示された文字通りに順番に押して行くと、目的の操作が達成できます。

1月初めに新橋演舞場で上演している新春花形歌舞伎を観劇してきました。市川海老蔵さん、中村獅童さん、市川右近さんなど豪華な面々で、演目も豪快な荒事の魅力が堪能出来る「車引」七五調の名台詞が見所の「白浪五人男」歌舞伎十八番のひとつ「七つ面」と最後まで華やかな舞台に魅了されました。生で見る「にらみ」は怖いくらい圧巻の迫力。成田屋の「にらみ」を見ると一年無病息災、縁起物。良い一年になりそうです。新年から歌舞伎と言うのも、昨年初めに母と歌舞伎座で観劇して以来すっかり歌舞伎の虜。多い時は月3回位観劇しています。歌舞伎=敷居が高いイメージでしたが、劇場独特の雰囲気、舞台や衣装・お化粧の華やかさ、体幹の強さに驚くアクロバティックな立ち回りや息を飲むほど美しい所作、笑いあり涙ありのお芝居、世襲で受け継がれる芸の奥深さ。知れば知るほど面白味を感じます。観劇前に予習したり、解説が聞けるイヤホンガイドを借りたり、そして御最良な役者さんが出来ればより一層楽しめます。(ちなみに私は片岡仁左衛門丈) まだまだ勉強中ではございますが、これほど長く続けられる趣味もないと思うので今から観劇に行くことをオススメします。

歌舞伎公式データブック 観劇必読十分「かぶき手帖」

ご意見・ご感想は adtain@adproject.co.jp まで メールでお寄せください。
発行：株式会社エディープロジェクト 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-27-4

www.adproject.co.jp

adproject 公式 facebook を check
adproject がお届けするエンターテインメント情報を随時UP!!

皆様の いいね! をお待ちしております。

facebook adproject



もしくは、<https://www.facebook.com/adproject.japan>



2016
vol.044

1

Legend

創造への道①

～仲良創造元年～



ゼネラルプロデューサー
榎垣 俊幸

■新しい時代を迎える

新しい時代の始まりに新しい事を考える事はとても楽しい事です。環境・背景が微妙な昨今にこそ、人類が考えなければならない事は「幸せの星原則」です。

1. 平和である事
2. 健康である事
3. 危機がない事
4. 穏やかな事
5. 飢餓がない事
6. 活躍できる事

など基本的な概念が挙げられますが、これらが思考出来るには「感謝の気持ち」を持つ事が大切です。それには、己を知ることから始まります。それは人間である前の生物である事を感じ、人類であり、人間である、と言う事をイメージ肯定する事であり、またそれは三次元時空間であり、宇宙と言う時空であり、銀河系、太陽系、第三惑星、地球星、日本国、東京都、渋谷区に生息し、ADプロジェクトという集団に帰属し暮らしを営んでいる人類であると言う事です。

また、この人類はDNAという生命遺伝子により生存保証をされています。これらにどの因子がなくても存在はしません。言い換えれば自分の存在の必然性は、自然競争原理に育まれた存在なのです。

年頭です。普段は余り考えない思考回路で考えてみましょう。

これらの実感的な存在条件を満たした自分から見た地球の次元から悩み深く考えてみました。地球には人類が起こしている争いや経済格差や人工的生命危険物の製造などがあり、悩みの絶えない現状があります。それは生物の生存競争の次元から進化する事のない寂しい状態です。そのままに競争の原理だけが残り、様々な戦いを構成したのが今日の威力社会になっています。しかし、人類は競争の原理が無ければ進化はないなどと言う愚かな生物では無いと信じたい。今後は、この地球の万物が仲良しになる成長因子の創造に向かいたいと考えた日々でした。

■考えが変わるパラダイム変化

時を重ねる事は楽しみが増える事です。様々な学習や体験を基にした現実主義と、くじけてはならない夢想主義の楽しさが交差する混沌とした中「割り切り」が大切である。楽しい時間も悲しい時間も「自由」に育まれ

EDGE
Positive mind



adtain
adproject-entertain newspaper



モデル：Stasya / Height:170cm B:86 W:60 H:93
事務所：ARTRICK ENTERTAINMENT (アートリック) <http://artrick.com>

adtainとは、adproject と entertain が融合した「おもてなし」のトピックス誌

た嬉しい時間です。人間である自分は死ぬ事を知っています。しかし、いつその死が訪れるかは知りません。それが実証や結論なき快樂発想です。それが老齡暮らしなのです。ゆえに、生きてる事が幸せづくりに直結した生き様を実行する事が大切な輪廻となりました。そこで「あなたは生きてる事で喜びを分配する存在ですか?」「万物が仲良くなる進化ソフトを発信していますか?」の質問に応じる生き方が重要となります。商品も組織も規範も進化ベクトルを「仲良し」に合わせる事が大切な「知的進化」となり、その為のクリエイティブの創造が大切となります。そして、その為には前向きで、明るく、楽しいポジティブ・マインドの創造・研究・開発が人類の教育学習課程に導入されなければなりません。出来れば「ポジティブ大学・大学院」の創設を進められればと考えています。今世紀に開発されるであろうポジティブ・ワールドに期待します。

■ポジティブ変換の職人

右の羽が科学技術の発展ならば、左の羽である「思い」のベクトルの低迷が気になります。地球の進化のコンセプトである「概念とベク

トル」の方向性に統一のない野獣社会化する地球が気になります。ポジティブ・マインドは確かに成熟社会では拡張を見せましたが、その存在を保証するこの星の在り方では確立されていません。そんな程度で火星や金星など太陽系社会まで拡張して行って良いのだろうかとの「疑問と不安」が付き纏います。ドメインの拡張だけでなく思考の深みが欲しいところです。それは単なる意見の違いではなく、侵略という宇宙戦争をも導いてしまうでしょう。この世の矛盾は文字文化偏重主義による概念の不足から来ます。特に、日本は文字文化偏重主義がイメージ不足を招き異次元的、妄想力的などの劣勢を招いています。そろそろ学問に対する優位性が文字文化に保証される時代の終焉です。論文はいらぬ時代です。私達は文字ではないイメージーション妄想力で全てを動かす見えないコミュニケーションワールドを推奨します。そして、バーチャル・コミュニケーション創造を実施します。それは、近い未来の火星人とコミュニケーションの為です。

正月夢想人



秋葉 悠介

- Title : LifeProof
- Date : 2016年
- Place : 陸・水中・雪

明けましておめでとうございます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。

2015年を振り返ってみますと色々辛いこともありました。忘ればい性格が逆に役立ってあまり覚えていません(笑)。さて、2016年の運勢は久々の大吉！これは何か良いこと起こるかも！？と心機一転、昨年からは「サイクリング」「バスケットボール」に加えて今年は「水泳」に挑戦したいと思います。活動の場を広げることで新たな知識・価値観・人脈を築けていけたらと考えております。と、どうでもよい私の抱負を発表したところで、突然ですがスマホユーザーの方におススメの商品をご紹介します！スマートフォンケース「LifeProof」です。自慢ではありませんが昨年は水没1回、液晶破損2回、さらに年明け早々、またもやポケットから落ちて液晶が破損しました。自分の不甲斐なさが情けなさになり最後は、ワザと壊れやすく作られているのでは？と商品に対する不信感に変わってしまいました(笑)。最近いたるところでスマホ修理屋が増えているし、やたら修理費が高いし、絶対そうに違いない！と…思いながらも仕事で使用する為、画面が割れたままというわけにもいかず、泣く泣く修理に出しました。そんなとき、もう絶対にこんな辛い思いはしたくない！とケース売り場で出会ったのが耐衝撃性・防水・防塵・防雪といった性能をもつこの「LifeProof(約1万円)」です。保護等級クラス最高であるIP68を越えるスマートなiPhone専用防水ケースで、デリリーユーズとして潜水可能なケースは他にありません。さあ、ダイブ水中カメラは家に置いて出かけましょう！LifeProofなら海でサーフィンをしたり、プールで泳いでも大丈夫。水深2m以内であればあなたのiPhoneを保護します。サーフィンやスイミングの最中に音楽が聴きなくなる経験はありませんか？イヤホンの差し込み口の栓を回して外すだけで、防水のヘッドフォンがご使用いただけます。突然の雨や、舗道での水しぶきなど、不測の事態でもLifeProofがあれば大丈夫。水たまりにiPhoneを落としたりしてしまってもがっちり保護します。これからはキッチンやレストラン、パーティなどドリンクなどがこぼれそうな場所にも堂々とiPhoneをお供に素敵なお時間を過ごしてください。想像してみてください。誰かがあなたのiPhoneにドリンクやフードをこぼしたとします。大丈夫、水を張って洗ってください。たとえ、スプーンの中に落としても単に洗うだけで大丈夫。日常の濡れる心配が完全に解放されます。チャットやメール、動画などをお風呂でもお楽しみになります。さらに現在特許出願中ですが音声出力可能な防水ケースという特性があるため、シャワー中に映画を見たり音楽を楽しめます。見た目もCoolなこのケース、あなたには高いと感じますか？安いと感じますか？使ってみれば分かると思います！僕はこのケースが様々なイベント現場でも活躍してくれると信じています。



▲PV



▲耐衝撃性



▲防雪



▲防塵



▲防水

Project 3.

伊藤 美幸

- Event : ミュージカル「忍たま乱太郎」第7段～水軍峠三つ巴の戦い！～
- Date : 2016年1月9日(土)～23日(土)
- Place : サンシャイン劇場



あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

2016年の抱負は仕事を昨年以上に頑張る事は勿論ですが、とにかく痩せよう…と心の底から思いました。年明けですぐ、久しぶりにスーツ着用の現場の為、念のため事前に家で着てみようとしたところ、入社前に転職活動をする際に新調したスーツが全く入らなくなっていました。ジャケットもパンツもパツパツで、ファスナーが上がらないどころか、足が通らず穿く事も出来ませんでした。無理に入れると確実に破れます。最近階段をのぼる際や椅子から立ち上がる際、なんとなく体全体が重たい感じがしていたのですが、疲れているのかな…寝てもなかなか疲れが取れないな…と考えていたのですが、薄々と気づいてはいましたが物理的に体の重量が増えていただけでした。凄く辛い現実ですが、これは痩せないと絶対に駄目なやつです。服が入らないだけならまだしも、体が重たいと動きが鈍くなり、とにかく素早く反応するのが大切な事が多いので、これでは仕事の効率も悪くなってしまいます。細いから良い、太ってるから駄目、ではなく自分にとって一番動けるベストな体形を見つけようと思います。

1月9日(土)～23日(土)まで、サンシャイン劇場で行われたミュージカル「忍たま乱太郎」第7段～水軍峠三つ巴の戦い！～の制作のお手伝いをしているのですが、稽古期間中は役者さん達は、とにかく時間があれば筋トレを行っていました。そのストイックな姿勢から学ぶことがたくさんありました。自分自身の商品価値・魅力を高めるということは、役者という仕事だけではなく、どんな仕事でも大切な事であると感じました。本番に自分のベストを持っていく術を見習おうと思います。

せっかく会社の目の前にジムがあり、朝7:30～と早朝から営業しているそうなので、少し前に話題となった「エクストリーム入社」してみようかなと考えています。「早起きも出来、仕事前に眠っている頭と体を起こし仕事の効率もアップ」…そううまくいかはわかりませんが、今まで怠けていた分少し自分の体に鞭打っていかうと思います。



©ミュージカル「忍たま乱太郎」製作委員会

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。先日、関東三大イルミネーションとしても知られる『あしががフラワーパーク』に行つて参りました。約300万球の光が輝くイルミネーションがパノラマに広がり、美しい輝きを放っていました。まず驚いたのが、臨時駐車場の広さ！この日は天気も良く、各地から多くの観光客で賑わっており、近隣の畑を駐車場として活用していて、点灯時間になると約2,000台収容の駐車場は満車状態。付近の道路まで渋滞は続いていて入園まで何時間かかるのやら…という状態。元旦からニューイヤールミネーションをテーマに2月4日まで開催していますので、皆様も一度足を運んでみてはいかがでしょうか。

Project 1.


コラ

Producers's column

EXECUTIVE PRODUCER : 松延 智明

趣味が高じて、世界一を倒す?!

下の写真は、昨年のクリスマス夜の23時ごろ、とあるピリヤード場での記念写真です。会社帰り、イブに行われたピリヤードのハウストーナメントに参加し、自分でもびっくりの準優勝！この驚きもさることながら、もう一つの驚きは、この時の第1試合の対戦相手、赤狩山プロを撃破したこと。2011年に最高峰の世界ナインボール選手権を制して世界チャンピオンになり、日本で初めて世界ランキングトップになった知人ぞ知るすごいお方です。ハンデの恩恵もあって勝利ができたわけですが、まかりなりにもトッププロを負かすという貴重な経験ができました。せつかくやるならと真面目に練習に取り組んできた趣味のピリヤード。何でも一生懸命にやれば、思いもよらない体験ができるというものなんですね。というわけで、仕事でも素晴らしい体験ができる、あるいは提供できるようにがんばりますので、今後ともよろしくお祈りします！



▲PV

▲耐衝撃性

▲防雪

▲防塵

▲防水

Project 2.

ASSOCIATE PRODUCER : 広川 映里夏

■ Event : セロ・THE SECRET WORLD TOUR

■ Date : 2015年～2016年

■ Place : 東京、大阪、マカオ、香港、他

HAPPY NEW YEAR!! May 2016 be a wonderful year for all of you!!

皆様、明けましておめでとうございます！本年も宜しくお願い致します！！

昨年11月から、マジシャンのセロさんのライブツアー第2段が始まり、再び制作をさせていただいております。2015年のライブツアーは「The Secret」という題名がついており、興味深いマジックが詰まった楽しいショーとなっています。11月中旬の東京国際フォーラムでの公演を始め、12月上旬はマカオ、それからクリスマスには大阪で観客を魅了し、今年4月には香港へ行きます。他のアジアを中心とした国々からもオファーをいただいております。まだまだ続きます。また、先月の大阪公演前には、全国放送された、あの王道のお昼の番組「徹子の部屋」にもご出演され、本当に「日本へお帰りなさい！」という声もSNSなどで聞かれるようになってきています(黒柳徹子さんとのトークはこちらでご覧いただけます→<https://www.youtube.com/watch?v=OXIFDJQZkQ>)。以前日本でフル活動していたころを知らなかった若い世代も、この番組で初めてセロ・マジックを見て、「きっかけー！」や「マジ分らない、どうなってるの？」などのツイートが多く、ちょっとした話題にもなりました。今年初のテレビ出演は1月12日にオンエアされたNHKの「歌謡コンサート～新春歌まつり2016」で、大御所の北島三郎さん、八代亜紀さん、五木ひろしさんと石川さゆりさんなどと共演をし、自分のショーでも行っている巨大トランプを使用した演目を披露し、非常に盛り上がりました。2016年、益々日本や海外で活躍されて行かれるセロさん。その冒険の一メンバーとして、引き続き頑張りたいと思っておりますので、皆様も是非応援いただければ嬉しく思います！




▲「徹子の部屋」でセロさんが黒柳徹子さんに今までの海外活動を語る。

▲昨年12月のマカオ公演の様子。(http://whatson.macaucloser.com)

2016年は本厄のよう…

PRESIDENT : 檜垣 俊吾

20代の厄年の時には、全く気にすることなく過ごしていましたが、さすがに40を過ぎて経験する厄年は、ちょっと気になる年である。人生における節目と捉えるべく、何となく、いつも以上に神様へお願いをしてみたり、健康的なことを始めてみたりと、気にしない方はずだったか、少し不安になっている自分自身がいる。これも経験して分かること。子どもの頃に、大人達の会話で「来年厄年だから…」、「入院したのは厄年だった」などの会話を聞きながら、何でそんな事を気にするのか、少し馬鹿にしていた自分も、今は少し気持ちが分かる。老人の気持ちもきっと、老人にならないと分からないのであろう。ビジネスの鍵もそこにあり、未来のバリューは想像でしかないが、自分が経験した年頃の気持ちは、時代が変わろうとも、その時の自分の気持ちを思い起こせば、歳を重ねても若者のバリューが分かるはず。若者の気持ちは年寄りには分からないというのは、ウソだと思う。そういう意味では、体験者である50代、60代が、その年頃のバリューを思い起こし、もっと企画をすれば、購入消費の高い30～40代の心に響くバリュー製品や企画が出来るはず。自分の周りや日本全体において、早くして60歳が引退の節目のようになり、それに近づく頃やその真只中で、現役引退ムードで過ごしている人が目立つ。しかし企画年齢で言えば、50代、60代は、旬な年頃ではないだろうか。若者が想像で企画するのはなく、知識と幅広い経験の上で企画し、マーケティングが直面する課題を解決する能力をもった真のマーケティングが出来るのも、その年頃を経験して人達であろう。60を過ぎて、男性も女性もまた厄年がやって来るが、まさにその時に、最大の企画が出来るように、これから幅広い経験と知識を学びつつ、次の厄年まで準備をしたいと思う。そういう節目の年として考え、次までのインターバルで、自分を熟成出来れば、歳を重ねることも悪くない。最大の企画を60代に出来ることを目指して。



あしががフラワーパーク

～ニューイヤールミネーション～

阪本 崇裕 (第1プロジェクト)

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。先日、関東三大イルミネーションとしても知られる『あしががフラワーパーク』に行つて参りました。約300万球の光が輝くイルミネーションがパノラマに広がり、美しい輝きを放っていました。まず驚いたのが、臨時駐車場の広さ！この日は天気も良く、各地から多くの観光客で賑わっており、近隣の畑を駐車場として活用していて、点灯時間になると約2,000台収容の駐車場は満車状態。付近の道路まで渋滞は続いていて入園まで何時間かかるのやら…という状態。元旦からニューイヤールミネーションをテーマに2月4日まで開催していますので、皆様も一度足を運んでみてはいかがでしょうか。







Project 4.

PRODUCER : 岩下 信而

■ Event : 忙しくても遊ぼう

■ Date : 2016年1月平日

■ Place : 新宿とか銀座とか六本木とか

元日を含めた年末年始、休みもままならず、皆で忙しくしています。え、大丈夫かって？「安心して下さい、穿いてますよ」じゃなくて、「安心して下さい、遊んでいますよ」。忙しいときこそ、少しの時間でも遊ばしましょう。と言うわけで映画二本をご紹介します。

まずはみんな大好きジェームズ・ボンド「007スペクター」。1962年の第1作から数えて24作目。昔酒場でホステス同士が、ションコネリーとロジャー・ムーアで口論となり、どちらの子にも秋波をくれていた頃は、その場の対応に困った記憶があります。時は流れて現在のボンドは、「ドラゴンタトゥー」ダニエル・クレイグ。お色気担当のモニカ・ベルッチと無表情で××。フィジカルなのにクールかつアーティフィシヤルなイメージもあり、若い世代には受け入れやすいのでは。ただ何と言っても圧巻なのは敵役。タランティーノ作品で2度のオスカーの他「おとなのけんか」「ビッグ・アイズ」などの個性派クリストフ・ヴァルツが、あのドクター・ノオのオマージュともとれる快演。次はこの人の、ウディ・アレン作品が観たいな。





そして、裏アメグラとも言える青春映画の佳作「ラストショー」(1971)、ぼくらが胸ときめかせたノスタルジック・コメディ「ペーパームーン」(1973)などのピーター・ボグダノヴィッチ監督13年ぶりの「マイ・ファニー・レディ」。

おバカなハンサムを演らせたら天下一品のオーエン・ウィルソンとキュートなイモーゼン・プーツ主演による群像コメディです。2時間弱のウェルメイドなラブコメは、DVDも良いけど是非映画館でデートにどうぞ。その後のディナーで感想を語り合い、接近するには最適かも。さあ仕事も遊びも、みんな時間を楽しんで。では次号、Ciao！



注目!!イモーゼン・プーツ